

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		平成28年度の実施状況		平成29年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
					H28年度	H29年度						
創作活動（続き）	1	切り絵教室	24	第2・4金曜 午前	・細かい作業をする事で指先のリハビリにつなげる。 ・完成した時の喜びを期待する。			23	171	21	145	・特別な講師はなく、利用者同士が教え合いながら進めていた。 ・長年続いている教室のため、利用者の技術も向上している。 ・岐阜市ショッピングセンターが開催する作品展に出展した。
	1	ちぎり絵	12	第4月曜 午後	誰でも参加できる簡単な画材から始め、表現力・集中力・根気さと指先のリハビリに繋げる。			12	93	12	91	・集中力と根気さを身に付ける良い機会となっている。 ・利用者の方が、講師となり作品作りをしている。 ・毎年作品展に出展し、励みとなった。
	1	サロン	12	第2火曜 午後	簡単な おやつ作りや、軽スポーツ・買物等、誰でも参加でき、仲間と一緒に楽しむ。			-	-	12	103	・内容等は、利用者の意見を尊重しながら、季節や人数を考慮し、時間内で出来るもの、楽しめるものを選び、取り組むことが出来た。
	1	水墨画・習字教室	24	第1・3金曜 午後	障がいのある講師の指導により、ハンディがあっても行動する大切さを学ぶ。			24	178	22	92	・利用者は真剣に取り組み、毎回楽しみにされていたが、講師の方の都合により12月で終了となった。 ・30年度より自主活動日とし、利用者が自由に来館出来、ゆっくりと過ぎて頂ける時間とする。
			小計	158			13	13	136	1,295	151	1,235
スポーツ・レクリエーション			回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	
	1	がんばろう会 ・主に知的障害者対象 ・スポーツ活動	12	第2月曜 午後	健康の維持増進と身体機能の向上、社会性や協調性を養う。			10	73	8	76	・利用者の希望を取り入れ、散歩・ボーリング風船バレー等体を動かす事が出来たが体力的には差があった。 《取り組み》 ・利用者全員が楽しめ、持続できる体づくりを企画する。 ・レクリエーションゲーム・室内ゲーム・屋外ゲーム等
	1	がんばろう会 レクリエーションダンス ・主に知的障害者対象 ・講師の指導により実施	12	第2月曜日 午後	・身体を使ってエネルギーを発散する。 ・仲間と同じ目的に向かって行動する。 ・発表の機会を設けて、達成感を味わう。			11	73	12	84	・毎月1回のため、利用者はとても楽しみにしている。 ・利用者の中には、独自でダンスを創作し、家で練習をし、月1回発表の場を設定してもらい、自信に繋がっていく事が出来た。
	1	サウンドテーブルテニス ・主に視覚障害者対象	12	毎週水曜 午前 (第4週を除く)	視覚障害者の方の楽しみなスポーツであり仲間と楽しむ。			12	45	11	62	・月1回の視覚障害者の体を動かす良い機会であった。 ・仲間と一緒に出来る事の楽しさを味わう事ができた。
	1	3B体操	20	第2火曜 午前	楽しく運動機能の維持を図る。			22	166	25	186	・イスに座って、楽しく出来る教室であるため人気がある。 ・講師の指導のもとでの体操であるため、ニーズが高い。

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		平成28年度の実施状況		平成29年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
					H28年度	H29年度						
スポーツ・レクリエーション(続き)	1	風船バレー	20	第1・3金曜 午前	楽しみながら身体を動かし運動不足の解消と身体機能の維持を図る。			24	198	22	165	・座ったままで簡単に出来るスポーツであり好評である。 ・利用者の高齢化が進み、体調不良のため欠席者が多かった。
	1	軽スポーツ・機能訓練	24	第1・3水曜 午後	理学療法士の指導のもと専門的に身体機能の維持を図る。			23	229	21	163	・理学療法士のプログラムによる専門的な内容となっているため、人気のある教室になっている。 ・利用者の高齢化と共に体調不良の利用者が多かった。
	1	ヨガ教室(イス)	24	第2・4金曜 午前	車椅子の方やマットに横になれない方を対象とする。			23	150	22	163	・身体の状態等に合わせて座位と仰臥位で実施している。 ・参加者からは、身体的・精神的にも大変安らぎ、気持ちが落ち着くと好評である。
	1	ヨガ教室(マット)	24	第2・4金曜 午後	自分に合った動きと呼吸により、身体機能の維持と精神の安定を図る。			23	156	23	165	・呼吸の仕方を整えることで、精神面にも非常に効果が高い。
			小計	148			12	13	148	1,090	144	1,064
更生相談			回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	・新規利用見込み者の相談等を受付
	1	障がい者にかかる相談全般	12	随時	身体状況、生活状況、福祉制度等の相談や介護方法の助言を行う。			12	20	3	3	
		小計	12			12	10	12	20	3	3	
リハビリ指導			回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	・鍼灸マッサージ士によるマッサージの身体リハビリを実施。 ・水、金曜日の午前の教室利用者を対象に実施。 ・29年度は休日(祭日)が重なり、また、マッサージ師が休まれた事で回数が減っている。
	1	リハビリ指導	83	毎週水・金曜	身体機能の保持、機能回復を支援する。			94	764	88	387	
		小計	83			13	12	94	764	88	387	
送迎サービス			回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	・平成29年3月で、福祉タクシーの事業者が閉鎖になり、4月から職員による自前の送迎サービスに変更した。 ・通所が困難な方には良いサービスである。 ・利用者の自宅を把握し、順路立てて送迎を行い、時間も短縮出来た。
	1	送迎サービス		随時	通所が困難な方を対象とし、自宅までの送迎を行う。			249	2,506	253	2,633	
		小計				14	14	249	2,506	253	2,633	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成28年度の実施状況		平成29年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H28年度	H29年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
その他	1	障がい者レクリエーション交流会	1	7月 第1日曜日	誰でも参加できる軽スポーツで障がい者、介護者、ボランティアの交流を図る。			1	87	1	90	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者団体の会員同士の良い交流の場となった。 内容がマンネリ化している。 《取り組み》 ・30年度は 内容の検討をし、交流会を2回設定。2回目の交流会は、鑑賞会を予定している。
	1	障がい者バスツアー	3	6月 10月 3月	日ごろ外出する機会の少ない障がい者の方に外出する機会を提供し、家族、友人、ボランティアと一日楽しく過ごす。			3	93	3	125	6/3 なばなの里(三重) 50名 10/7 アクアト・ぎふ 50名 3/3 イチゴ狩り(長野) 25名 ・実施前に資料収集や現地との打ち合わせ、下見を念入りに行い、行動に支障が生じないように留意した。 ・日帰り旅行は好評ではあるが、参加者が毎回同じであるため、PR方法を考える必要がある。
	1	季節行事	1	4月	伝統、文化の継承			3	24	2	20	4/3、4/8 花見 ・季節行事は、各教室でも行っている。
	1	福祉体験	6	随時	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験、福祉講座を行う事により、障がい者への理解を深めてもらう。 将来の福祉人材育成のきっかけ作り。 			7	294	14	617	6/9 養正小4年生 65名 6/10 滝呂児童センター 22名 6/21 小泉小4年生 113名 7/10 精華小4年生 126名 7/26 本土児童館 6名 8/2 大原児童館 11名 8/23 太平児童センター 9名 10/19 南姫小5年生41名 根本小6年生 99名 11/1 市之倉小6年生 41名 11/9 ~27 北栄小・脇之島小 6年生 125名 ・小学校の児童や児童館の利用者等に車イス体験を重点的に行い、福祉や障がい者への関心を持てるよう講話と実技指導を行った。 《取り組み》 ・小学生に福祉について興味を持ってもらえるように丁寧に伝えていく。
	1	音楽療法	24	第1・3火曜 午後	精神的安定と嚥下機能の向上を図る。			22	181	25	153	・発声練習・のどのストレッチから始まり、楽器演奏・唱歌・季節の歌・利用者の気に入った歌等、障害の種別を問わず参加出来るため 大変好評である。
		小計	35			13	13	36	679	45	1,005	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		平成28年度の実施状況		平成29年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
					H28年度	H29年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)		
その他			回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
	2	障がい者団体意見交換会	1	5月中	各障がい者団体が一同に意見交流をし、事業の参考にする。			1	15	1	15	・各障がい者団体の近況報告や意見交換とともに、障害者センターの事業の紹介、協力を依頼した。
	2	交流事業	5	随時	複合施設の利点を活かすとともに、社協が運営する他施設との交流を図る。			3	35	2	31	・優が丘との交流会を企画し、昼食作りや、レクリエーション、散歩等行う事で、お互いを知ることが出来た。
	2	単発教室	3	随時	通常のセンター利用者だけでなく、広く市内全体に公募し啓発と利用者拡大を図る。			3	30	0	0	・29年度は実施なし。 ・30年度は内容を検討し実施する。 自前での送迎が 始まり、(朝・昼・夕方)時間の確保が難しかった。
	2	土曜教室(フレンド)	12	第3土曜	障害者事業所を利用している方の余暇活動と仲間作りの機会を提供する。			11	117	12	107	・内容は、利用者からの意見によって決定した。 ・毎回10人ほどの利用者があり、室内ゲーム、戸外遊び、おやつ作り等仲間と一緒に出来た。 《具体的内容》 ・室内ゲーム・屋外ゲーム・おやつ作り ・季節行事 等 《課題》 ・仲間と一緒に出来るが、個人プレーが多い。 《取組み》 ・30年度は、仲間意識が持てるように声を掛け、やる内容に自分自身で、目的を持てるように支援する。
		小計	21			14	13	18	197	15	153	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等でない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。

・仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点